



ぐんまPTA広報

Gunma Parent Teacher Association Public relations

第110号
 平成28年10月1日
 発行所
 群馬県PTA連合会
 前橋市文京町2-20-22
 TEL 027-224-2816
<http://www.gunma-pta.net/>
 E-mail info@gunma-pta.net

岩村会長挨拶



平成二十八年度のぐんまPTA広報第一〇号発行を期して読者の皆さんに感謝をして会長あいさつさせていただきます。会長歴二年度目となります。会長歴二年度目となる今年度も、日頃県PTA連合会の皆さんは、役員、理事として事務局の皆さんに支えられながら今日に至っております。今年度は、群馬県PTA会長として出向しています。公益社団法人日本PTA全国協議にて関東ブロックの三名指名の日P理事のひとりとして重要な役割も懸命にできる限り何とか受任をしております。

昭和二十四年十二月二十三日に県内十二郡市で発足した「群馬県PTA連絡協議会」に始まる県PTA連は、「群馬県小中学校PTA連合会」を経て現在の「群馬県PTA連合会」と改称されて、県内十九郡市（七郡十二市）の各PTA連合会・連絡協議会が構成され、すべてが協力の協力を迎えて、創立六十七周年を迎えます。県PTA連では、役員会、理事会（主に各郡市協議会長にて理事構成）、各専門委員会等を中心とした企画運営を協議し、年四回開催される理事会に諮りながら定期総会で承認いただいた活動方針のもと事業を推進しております。まさに直前年度となりました。平成二十九年十月二十一日と二十二日に高崎市を会場で開催される第四十九回関東ブロックPTA研究大会群馬大会のため設置した「関ブロックPTA群馬大会推進室」において開催準備・大会運営計画等に担当役員も増員して真摯に取り組んでおります。この関ブロックPTA群馬大会を無事に成功することを旨とし、実施のために関わった皆さんのPTA活動の良き励みになりますように願っています。

家庭・学校・地域の更なる連携を図りながら各々地域性や特徴を生かし、子どもたちの安全安心と健全育成を中心に活動が推進されていると思います。県PTA連は、様々な社会情勢変動を受けて移りつつある教育情勢の中で行われるPTA活動の円滑に推進して活性化へ向け、特に家庭教育力の更なる向上を図ることができるよう心がけて県PTA連の恒例的な事業や新しい活動を行っております。十何年に一度にまわってくる大きなPTA研究大会を主管することとなる今年度においても大会運営に過半数努力や苦勞はもちろんです。必要ではあります。例年度行われていた事業活動も損なうこと無くその実現実施を機会に会員の皆さんにPTA活動の価値ある存在意義をもう一度再確認していただければ、ご理解とご協力をいただければと思います。

定期総会開催

群馬県PTA連合会
 定期総会 盛大に開催！

六月三日（金）、群馬県生涯学習センター多目的ホールにて、平成二十八年度群馬県PTA連合会定期総会が開催されました。本年度も「子どもたちのたくましく生きる力をはぐくむために、自ら学ぶPTA活動を推進しよう！」をスローガンに掲げ、県内各地から、地区代表者や多くのPTA会員が集まりました。高松副会長の進行のもと、開会の言葉、国歌・PTAの歌斉唱、岩村会長の挨拶で総会は始まりました。



来賓の祝辞を頂き、その後群馬県教育委員会から、「ぐんまの家庭教育応援条例」についての行政説明を受けました。引き続き、群馬県PTA連合会会長表彰が行われ、団体表彰四十団体、個人表彰三十三名が受賞されました。受賞された皆様におかれま

「活動スローガン」
 子どもたちのたくましく生きる力をはぐくむために、自ら学ぶPTA活動を推進しよう！

最後に、前任本部役員や退任理事の皆様へ、感謝状が贈呈され、定期総会はつづがなく閉会しました。

(文)高山英記

第六十四回日本PTA全国研究大会 徳島うずしお大会に参加しました！

広報副委員長 横山真一

第六十四回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会が八月二十日・二十一日の二日間、徳島県内で開催され、群馬県からは総勢二十六名が参加しました。

大会スローガン「徳島発！渦巻く力を、これからの社会に巣立つ子どもたちのために、うずまけいっばいの愛を注ぎ込もう！」を掲げ、全国から参加の約五千人が一堂に集結し、「家庭と学校の連携の力を生かした」「健やかな体と心を持つ子どもを育てる」「大人がともに学び交流しあえる」PTA活動をメインテーマとし、阿波の国徳島県でも、



島県でも、学び、交流し、子どもたちの輝く明日のために熱く語り合いました。「うずまけいっばい」とは、「あふれそうなくらいの」という意味の徳島の方言です。初日は、徳



島県内七カ所の分科会会場に分かれて実施され、各々の研究課題のもと基調講演や事例発表、パネルディスカッションが行われました。私が参加した、今大会の中で一番小規模な会場だった第一分科会では、組織運営・広報活動について「PTAの組織づくり」と広報活動について語り合おう」を研究課題とし、小松島出身の作曲家・サツク氏を講師に迎え、自らの子ども時代の体験を基に、親からの愛情、子どもに対する思い、などを語り、PTAのあり方について学びました。そして、この後、住友氏によ

るミニコンサートが行われ、会場はその素晴らしい音楽に魅了されました。後半は、地元徳島新聞社編成局長、鳴門教育大学教授、日P元理事によるパネルディスカッションが行われ、普段、私たちが問題を抱えているPTA組織づくりについて、またその広報活動について、意見を交換しました。特に徳島新聞の部長さんからは、広報紙の作り方の基礎について、新聞を構成する立場からの助言を頂き、今後の広報紙作成に非常に参考になりました。

二日目の全体会は、五千人が一堂に集い、アステイ徳島にて、開会式、記念講演、大会宣言と盛大に実施されました。開会式前のアトラクションでは、「同じあはなら踊らにやそんそん！」で有名な「阿波踊り」を阿波踊り協会総勢数百名の方々に披露して頂き、まさに、圧巻の一言でした。会場内はしばらくその熱気に包まれていました。開会式では、遠藤徳島市長による歓迎の言葉があり、全国の市長の中で「阿波踊り」を一番上手に踊れるのは私です！と会場全体の笑いを取っていました。また、記念講演では漫画家の竹宮恵子氏を講師として迎え、子どもの頃の経験を基に、親子の絆、地域とのつながりについて語って頂きました。

平成28年度 役員・理事等名簿

会長	岩村 隆志	上川 潤小
副会長	高山 英記	広瀬小(伊勢崎)
副会長	竹内 一普	一中(高崎)
副会長	鹿島 元幸	明治小
副会長	高松 徹	生品小
副会長(県P大会)	岸 龍也	桂萱中
常任理事	横倉 美香	富岡小
常任理事	清水 誠	※
常任理事	宮崎 徹	※
常任理事	星野 祝子	五中(前橋)
常任理事	横山 真一	鬼石中
常任理事	奈良 諭	水上中
常任理事	野村 和彦	美園小
常任理事	藤塚 美里	荒子小
常任理事(関プロ)	神宮 嘉一	中尾中
常任理事(関プロ)	佐藤 貴雄	安中小
常任理事(関プロ)	青木 章子	大泉西中
顧問	早川 毅	

※2名は校長会代表

第30回 PTA広報紙コンクール

優秀賞

■小学校の部

郡市	PTA名	広報紙名
前橋	勝山小学校PTA	かつやま
前橋	荒子小学校PTA	あらこ
前橋	群馬大学教育学部附属小学校PTA	山びこ新聞
伊勢崎	茂呂小学校PTA	せんだん
伊勢崎	あずま小学校PTA	あずま
桐生	川内小学校PTA	やまなみ

■中学校の部

郡市	PTA名	広報紙名
前橋	第五中学校PTA	五中PTA新聞
前橋	大胡中学校PTA	梅檀
北群馬	吉岡中学校PTA	榉
太田	東中学校PTA	東中PTA新聞

群馬県小中学生総合保障制度 (こども総合保険)

本制度の概要は県Pホームページをご覧ください。
<http://www.gunma-pta.net/>

お問い合わせ先

- ◆ご契約の内容照会・変更のお手続きなどは…◆
 取扱代理店：(有)おかだインシュアランス
 〒371-0846 前橋市元総社町2-29-1 KXビル2F
 (電話) 027-255-6700
 受付時間：月～金 AM9:00～PM5:00
- ◆事故の受付・保険金のご請求などは…◆
 事故受付窓口：東京海上日動火災保険株式会社
 (フリーダイヤル) 0120-119-110
 [受付時間：365日 24時間]

最後に、大会宣言を決議され、家庭・学校・地域の連携、大人がともに学び、交流し合えるPTA活動の推進を宣言しました。

閉会の後も会場の出口では、阿波踊りが披露され、記念写真を撮りながら、名残を惜しみつつ、閉幕となりました。

下仁田町 下仁田小学校

五十八年ぶりの「夏期巡回ラジオ体操会」

下仁田小学校（児童数一九四人）は、緑豊かな自然に囲まれ、ユネスコ世界遺産登録の「荒船風穴」や日本ジオパークに認定された「下仁田ジオパーク」など、町の特産物「下仁田ねぎ」など様々な地域資源を活用した「下仁田学習」を推進しています。

また、今年で統合五周年を迎え、様々な五周年記念事業にもチャレンジしています。その中の一つが、学校、家庭、地域で協力し「地域連携協働の教育支援活動」と位置付け、「下仁田小学校PTA五周年記念事業」として取り組んだ「NHK夏期巡回ラジオ体操会」です。この事業は、昨年の夏休みの子供会のラジオ体操が発端となり、五八年ぶりに下仁田町で開催するため誘致活動に取り組みました。



「NHK夏期巡回ラジオ体操会」の様子。子供会員のラジオ体操が発端となり、五八年ぶりに下仁田町で開催するため誘致活動に取り組みました。

北群馬郡 榛東中学校

本校の特色

榛東村は群馬県のほぼ中央、榛名山の東麓にあたるため「榛東」と言われ、伊香保温泉を背に「都市と自然の接点」に位置しています。

緑豊かな自然環境に恵まれ、北関東唯一を誇る榛東ぶどう郷では、夏から秋にかけて観光ぶどう園がにぎわいます。村にある八幡神社では、毎年六月に「ホタル祭り」が開催され、美しいホタルを観賞することができ、創造の森では、関東平野も一望でき、特に夜景は見事です。また、老人の方が亡くなると、みんなで送ってあげましょうと防災無線で案内が流れるという昔からの心温まる風習も残っています。

我が榛東中学校は、四年前に新校舎が完成し、生徒四二八名が充実した環境の中で、学習や部活動に取り組んでいます。

「ワーク」に、子供は健康な体力づくりや規則正しい生活習慣を学び、大人は体力向上と親子交流を深め、地域の人は挨拶習慣や子供の犯罪被害防止につながるよう、行政と地域と連携を取りながら開催日の八月二十一日まで準備を進めてきました。学校では、音楽集会で「ラジオ体操の歌」の練習、体育集会で「ラジオ体操第一と第二」を練習し、先生方にご指導を、また保護者の皆様には参加依頼から声かけ運動にとご協力いただきました。

開催当日は最高の青空のもと、人口七、九七二人の下仁田町で、二五〇人の皆様にご参加いただきました。子供も大人も夏休みの思い出として、心に残る貴重な体験になったと思います。

今回の「NHK夏期巡回ラジオ体操会」は、たくさんの方にご協力いただき成功することができました。この事業を通じて学校、家庭、地域が同じ目標に向かい一丸となつて協力連携することが、子どもの教育力や地域力を高めることにつながると実感しました。今後もPTAとして学校、地域とより一層の連携を図り、子どもたちの成長を支援していききたいと思ひます。

（文／堀越健介）

高崎市 北小学校

全力で子どもと関わる「七夕山キャンプ」

夏休み直前の週末、市街地から車で十五分ほどの場所にある「観音山キャンプパーク」に「観音山キャンプ」を開催しました。キャンプは、人気の事業です。毎年四月下旬になると、四人の担当とえのきクラブ（おやじクラブ）を中心に、子どもたちのチームワークや自主性が発揮できるような泊二日のプログラム作りを取り掛かっています。過去には「命をいたたく」を

中之条町 六合小学校

全校生徒数三十二人、中之条町立六合（くに）小学校は、とても小さな学校です。日本

のちべつとも称される豊かな自然の中、そして小規模校ならではの特色ある教育環境の中で子どもたちはのびのびと成長しています。中之条町六合地区（旧六合村）には六合連という組織があります。これは町村合併後も地域として子どもたち（くにっこ）の成長に関わること

（文／山崎英之）

沼田市 沼田東中学校

沼田市の「城堀川清掃活動」



沼田市の「城堀川清掃活動」の様子。生徒は、地域に貢献する心を持って、地域に貢献する意識を高めています。

郷土を知り、そして、その郷土を愛する心を育て、地域に貢献する意識を高めます。平成二五年から行っています。平成二五年には、県から優良河川愛護団体として表彰されています。

城堀川はその名の通り、沼田城下の生活用水路として築造されたものです。沼田氏や真田氏が整備した歴史ある貴重な財産です。現在は生活用水路としての役割を終え、川沿いには遊歩道等が設置され、生徒は通学路として、地域住民は散歩道などの憩いの場として利用されています。

活動内容は、川の中に入つての木の枝や紙くず、ペットボトル、

（文／吉野清明）

テーマに豚の丸焼きや「道具を作る」をテーマに、竹を使ってマイ箸、マイコップ作りを行いました。

今年「親子で遊ぶ」と題して、芝生広場で運動会を実施。親子でペアを組んで、ムカデ競争や玉入れなどの競技を楽しみました。

子どもたちは一年生から六年生までの縦割りでチームを作り、夕暮りや夕陽を眺めながら、チームで取り組みます。キャンプファイヤーの時間には、炎を囲んで太鼓を叩くワークシヨップ。最初はバラバラだったリズムが徐々に揃っていき、七十人の子どもたちが、一体となる感動や喜びを感じていました。

を目的に、六合こども園、六合小学校、六合中学校の各単位PTA役員及び青少年推選委員で構成されており、廃品回収など大人が必要とする事業の共同実施や、単Pでは開催の難しい観劇会などを六合連として開催する活動に取り組んでいます。またPTA事業には地域住民の方々にも多大なご協力をいただき、地域一丸となつて子どもたちを見守る、過疎地域だからこそ人の結びつきを強さを活かした活動を特徴としています。

空き缶等のゴミ拾い。遊歩道ではゴミ拾いの他に、ほうきで道路を掃いて落ち葉などを掃除したり、木の枝を剪定して通行しやすくするなどです。生徒は生徒会福祉委員会が中心となり、学年毎に分かれて活動し、地域に各町内在住の市議会議員様、各町の長及び役員様、PTA本部役員他PTA会員が参加して、生徒と一緒に活動します。

（文／山崎英之）

安中市 松井田小学校

平成の新たな冬の風物詩

「福と生糸は日本一」上毛カクタで世に知られ、富岡製糸場の世界遺産登録で、諸外国にも名を響かせる群馬の養蚕。その一翼を担っていたのが、私たちの小学校がある地域の農家です。

農家の人々は、五穀豊穡を祈り、無病息災を念じて、四季の移ろいの中で、独特の年中行事を執り行ってきました。小正月の行事「どんと焼き」もその一つです。

数年前まで、よき伝統を受け継ぎ、小学校の校庭に、正月の松飾り・注連縄（しめなわ）などを家々から持ってきて、高きところへ飾りつけ、道祖神小屋を点火後、児童、保護者、地域の人々、地域

不思議な粘土で鉛筆づくり、飾りつけ、焼けた

（文／今村勝）

一般社団法人群馬県 PTA安全互助会から

PTA安全互助会は、PTA活動中に傷害事故等に遭われた会員に共済金・見舞金の給付を行うなど、会員が安心してPTA活動に参加できるように事業を実施しています。

昨年度は、五十六件の事故が発生しおよそ二百八十四万円（平成二十六年年度の事故に給付した金額を含む）の共済金等を給付しました。PTA活動は、事故防止が一番大切なことですが、事故が発生したときには速やかに安全互助会への手続きをしてください。

情報交換会から始まります。今年度は学童保育の開設と過疎化による学校統合への対応を主要課題として取り組むこととなりました。町役場担当課との交渉やPTA会員へのアンケート調査の実施など、活動は多岐にわたります。六合連だからこそ、幅広い意見を聞くことができ、この地域にとつて効果的な活動となっているのだと実感する日々です。

（文／山崎英之）

編集後記

今年の夏、父親仲間と子どもたちで八ヶ岳登山や栗島へ。高学年が多いとはいえ、二、三日家を離れ、父親と過ごすことに不安はないか、ケガはしないかと少し心配を。

しかし、行ってしまえば子どもたちは強いもの。普段なら大騒ぎしそうな多少のケガも全く気にせず、山も海も思い切り遊び倒していました。

反対に親父たちの体力のなさを痛感。しっかり体を鍛えておかないと、そのうち子どもたちに置いて行かれそうです。

（大澤博史）

編集委員

- 高山 英記 (伊・広瀬)
- 横山 真一 (鬼石中)
- 星野 祝子 (前・第五中)
- 堀越 健介 (下仁田小)
- 山崎 英之 (六合小)
- 小此木崇行 (榛東中)
- 小林 勲 (大泉南小)
- 大澤 博史 (高・北小)
- 今村 勝 (松井田小)
- 吉野 清明 (沼田東中)

群馬県PTA大会前橋大会のご案内

- 目的 研究協議や情報交換、講演会等を通して、PTA活動の改善充実を図る。
- 日時 平成28年11月26日(土) 13:00~
- 会場 ペイシア文化ホール(群馬県民会館)
- 参加者 各単位PTA会員等 約1,500名
- 内容 大会式典・講演会等
- 講演会 講師 奥野敦士(ROGUE)氏



家庭教育研究集会のご案内

- 目的 子どもたちの心と体の健やかな成長のために、保護者・教職員が一堂に会し、情報交換、研究協議を行う。
- 日時 平成28年11月11日(金) 12:30~
- 会場 群馬県生涯学習センター
- 参加者 各都市より約250名のPTA会員
- 全体会 県教委伝達 義務教育課「ネットいじめ」生涯学習課「家庭教育条例」講演 TERUコミュニケーション主宰 渡辺照子先生
- 分散会 テーマ別の6分散会で講演・研究協議



第49回日本PTA関東ブロック研究大会 群馬大会について

日時：平成29年10月21日(土)(分科会)
10月22日(日)(全体会)

会場：高崎市 音楽センター他7会場

スローガン：「伝統 自尊感情 自立した大人への架け橋
～絹の国から 未来を自分らしく生き抜く子どもたちを育てるために～」

分科会は「組織運営」「環境」「情報」「家庭教育」「健康・食育」「安全防災」「地域運営」のテーマごとに、7分科会が行われます。全体会の記念講演の講師は、俳優・テレビレポーターの阿部祐二氏に決まりました。

分科会と全体会、それぞれ担当の都市を中心に、全県を挙げて準備に取り組んでいるところです。

10月の関フク茨城大会では、ぐんまちゃんも登場し群馬大会のPR活動を行って参ります。みんなで力を合わせて、思い出に残る素晴らしい大会にしていきたいと思います。県内のPTA会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※大会シンボルマークは高野詩莉さん(26年度吉岡中3年)の作品です。